



3月の園だより

社会福祉法人
のぞみの会 大塚保育園
園長 石坂 孝喜
平成30年3月1日発行 No.427

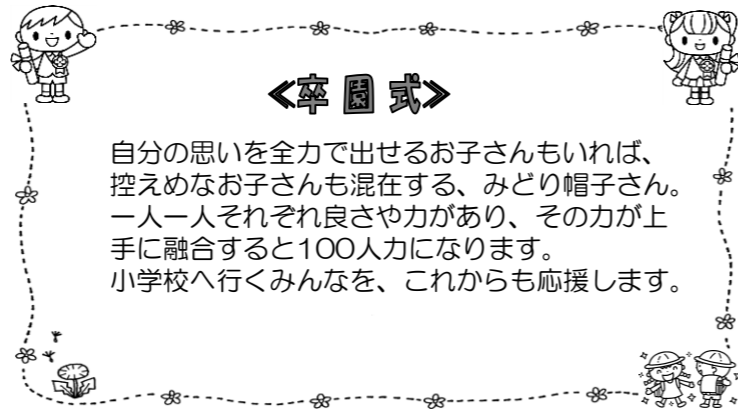
この29年度も3月が過ぎると4月からは新しいクラスに進みますね。分園から本園に移動して3歳児から5歳児の縦割りのクラスに入ります。本園の2歳児(つき組)も同じようにひかり組、そら組、にじ組に入ります。お兄さん、お姉さんの新しいお友達がいるクラスになります。この縦割りのクラスの特徴は個々ひとり一人が自分のやりたい活動にとりくめるように環境を整備し、それぞれその子の発達、興味・関心に応じた内容を用意しています。その活動にどれだけ集中するかが保育のポイントになります。最初はなかなか自分のやりたいことが見つからないことが多いですが、お兄さん、お姉さんのしていることを見たり、聞いたりして、また保育士もその活動のやり方を個々の子どもに提供して身につけていきます。

卒園する年長さんは残りすくなくなり、4月からの小学校での生活はどうなるか心配し、その期待と不安で一杯かもしれません。皆さん、既に学校生活に必要なランドセルなど揃え準備しおられるではないでしょうか。保育園生活も終わりになり「お別れ遠足」「在園児とのお別れ会」「クッキー作り」そして「卒園式」と忙しい毎日です。入学後も遊びに来てください。

園長

行事予定

- 2日(金) お別れ遠足
- 6日(火) 体操指導参観〔4才5才児〕
クッキー作り〔5才児〕
- 7日(水) クッキー作り〔5才児〕
- 8日(木) お別れ遠足予備日
- 9日(金) 誕生会・お別れ会
- 13日(火) 避難訓練
- 15日(木) 卒園式リハーサル
乳児健診
新入園児健康診断
- 16日(金) 卒園式リハーサル
- 17日(土) 卒園式



卒園式

自分の思いを全力で出せるお子さんいれば、控えめなお子さんも混在する、みどり帽子さん。一人一人それぞれ良さや力があり、その力が上手に融合すると100人力になります。小学校へ行くみんなを、これからも応援します。

~新年度の予定~

4月4日(水)入園式

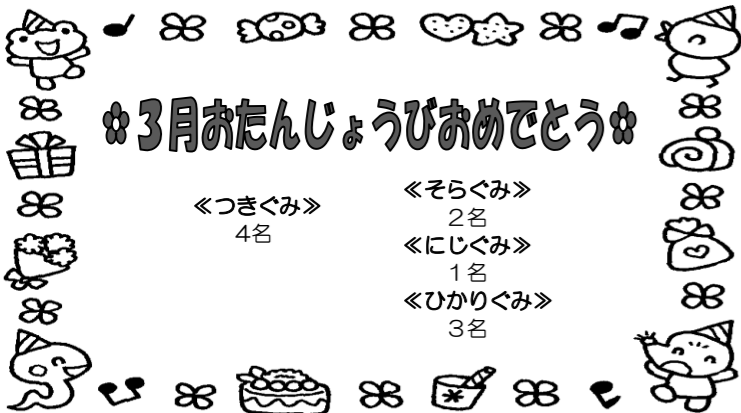
今年度より、平日に入園式が執り行われます。在園児の保育は通常通り行います。

~新年度の書類提出について~

勤務調査表等をお配りいたします。詳しくは配布されるお知らせをご覧ください。提出期限は **3月9日(金)** です。

~平成30年度の園のしおりについて~

変更点・追加点があります。配布後よくご覧になりご確認ください。



3月おたんじょうびおめでとう

《つきぐみ》
4名

《そらぐみ》
2名
《にじぐみ》
1名
《ひかりぐみ》
3名

下旬に4才児(きいろ帽子さん)が、ジャガイモ植えをします。日程は後日お知らせ致します。



5歳児リトミック参観...

子どもの気持ちを感じるというテーマで内容を考えました。保護者感想の中にも楽しみながら考えたり、子どもの笑顔がたくさん見られて良かった。参加型で、親も子どもと同じことをして親も感じるこころって大切だと感じました。など頂いています。リトミックを通して協働性・思考力・道徳や規範(ルールを守る)自然への関わり・自立心・豊かな感性と表現・言葉による伝え合い・数量や図形の関心を楽しみながらお子さんは学んでいます。これらは小学校の終わりまでに育て欲しい力でもあります。お子さんは楽しみながら学んでいます。お子さんが試行錯誤する様子、初めてする事への取り組みの様子をご覧頂けたと思います。おゆうぎ会や、運動会は練習を重ねた成果を保護者の方にご覧頂いています。達成するまでのお子さんの姿こそ大切にしていきたいと思っています。



非認知能力(社会情動性スキル)って アタッチメント(愛着)って大切って言うけれど何をどうすればいいの？

お子さんのサインを適切に受け取り、子ども達に自己選択を促しつつ、温かく応答的に関わっていく事が大切です。心地よい体験・楽しい体験・困った時・不安な時に助けてもらえる体験など情をかける・情のかけ合いが乳幼児期で一番大切なこと。日々の生活の中で、毎日の積み重ねで、継続的に・・・人とのやり取りの中で育っていきます。お子さんの気持ち言葉にしてあげてください。これらの経験を通して、将来を通じた自己肯定感 他者への信頼感・粘り強くやり抜く力・感情を調整する力が育っていきます。非認知能力が育つという事は、新しい環境になった時に適応できたり、違う動作を求められた時に対応できる力です。年長さんが小学校という新しい環境にどう適応していくか楽しみです。遊びや生活の様子を見ていると応用力があり、生きる力は育っているように感じています。



父母会主催の観劇会「おはなしたんけんたい」 ~感動をありがとうございます。

劇団員さんの表情やパフォーマンス、声の抑揚など実物のものがなくても幼児クラスのお子さんは抽象化の世界が広がっていて笑顔あり、笑いあり、かけ合いありの、あつという間の1時間でした。途中、隊長の人形がかもいに上がってしまうハプニングも、舞台上に演じてお子さんを楽しませてくださっていました。地域の皆さん(キッズクラブ参加者)にも観覧してもらうことができ「楽しかった」といってお帰りになりました。

父母会・保護者からの要望がありました

- ① 近隣の小学校の行事と園の行事が重ならないように出来ないでしょうか？ 園の行事を移動するのは他の行事との兼ね合いで難しく、また小学校に問い合わせをしましたが同様の返事を頂いています。特に運動会ですが学校行事に重ると卒園児が来なくなっている事が残念です。
- ② 保育参観を増やして欲しい
来年度からは2歳児の参観が出来るように計画を立てました。10月と1月どちらか1回です。年間行事予定表を確認ください。近くなりましたらお知らせを配布します。
- ③ 保育者の対応について
お子さんに対する言葉のかけ方、叱り方について質問がありました。伝えづらいと思う事でもあると思いますがこうしたご意見は私たちの振り返りや質の向上に繋がりますので、遠慮なく教えていただければと思います。

外は雪でしたが...元気に豆まきです!!



保護者の方が、園の事、お子さんの事に積極的に関わろうとしていることが嬉しく思います。先日の懇談会はインフルエンザが流行するさ中での開催となり、やむを得ず欠席された方もいらっしゃると思います。個人面談や保育参観・懇談会そして園の行事に仕事の調整をして参加して下さることに感謝しています。保護者とともにお子さんの今を受け止め、将来に繋がられるお手伝いが出来ればと思います。